

保険や暮らしに
関わるご質問は
お気軽にどうぞ。



コミュニケーションセンター
(電話受付)

専任のコミュニケーターが、ご契約内容に関するご照会にお応えします。また、各種保険手続き(住所変更・名義変更・入院給付金のご請求等)の受付をいたします。ぜひご利用ください。

ご利用時間	コミュニケーターによる受付(祝祭日を除く)	自動音声による受付
	平日:午前9時~午後7時 土曜日:午前9時~午後5時	24時間/年中無休

東京 03-5954-8811 名古屋 052-252-8816
札幌 011-231-8811 大阪 06-6448-8811
仙台 022-721-8810 福岡 092-762-8800

インターネットホームページ
<http://www.yasuda-life.co.jp>



みなさまと共に
新しい時代の
ページを開きます。



安田生命保険相互会社

YASUDA LIFE 本社 〒169-8701 東京都新宿区西新宿1-9-1 TEL.(03)3342-7111(代表)

安田生命 2003

平成14年度

業績のお知らせ

2004年1月、保険の平成維新 「明治安田生命」誕生へ。

合併契約書に調印いたしました。

安田生命と明治生命は、このたび「合併契約書」に調印いたしました。
新会社では、「生命保険事業のパイオニアとして、相互扶助の精神とお客さま第一主義を貫き、生命保険を中心にクオリティの高い総合保障サービスを提供し、確かな安心と豊かさをお届けする」ことを経営理念に掲げております。
今後も、合併に向けて着実な作業を進めるとともに、「お客さまの最良のパートナー」をめざして努力してまいります。



mental and physical health support

新サービスを共同展開

合併に先駆けて、両社のサービスを統合。当社の「健康得約サービス」や明治生命の「介護ネットワークサービス」など、両社の強みを活かすとともに、新たなサービスを加えてご提供いたします。

(サービスの詳細は、P3,P4,P10をご覧ください)



安田生命社長 宮本 三喜彦(左)
明治生命社長 金子 亮太郎(右)

2002年1月24日

明治生命との経営統合に向けた
全面提携発表

2002年3月

「確定給付企業年金保険」を共同開発

「合併覚書」調印

2002年10月18日

両社ノウハウ交換商品「健康物語 フルケア」発売

2002年11月



新会社では、「商品とサービスの品質」においてNo.1の評価をいただくことをめざしております。こうした方針に基づき、両社では商品ノウハウの交換を行っております。
その成果として、当社では2002年11月に大型介護保障を備えた主力商品「健康物語 フルケア」を発売いたしました。

2002年12月

両社共通営業職員用
「携帯パソコン・マイスター」
導入開始

2003年4月

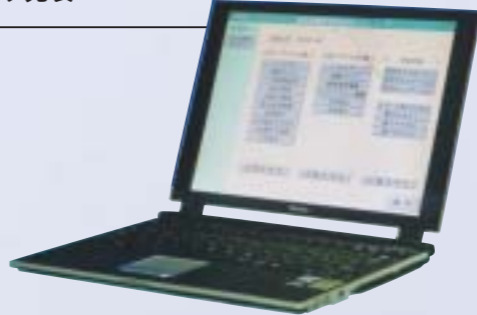
合同 入社式開催

2003年3月

新会社コーポ
レートマーク発表

2003年5月29日
「合併契約書」
調印

両社共同サービス「map」開始



2003年6月

両社特別協賛・ユーミンスペクタル
「シャングリラ」公演スタート

2003年
7月2日

総代会決議内容公告～異議申立て

総代会「合併契約書」承認決議

2004年1月1日
「明治安田生命」
誕生

監督当局の認可取得

公正取引委員会への届出



『シャングリラ』は、「理想郷(シャングリラ)」をテーマに、ユーミンこと松任谷由実さんのコンサートとロシアのサーカスが一体となったスペクタクルショーです。
新会社は、クオリティの高い総合保障サービスの提供をめざしており、「シャングリラ」が創り出す斬新な発想と想像力、未来への可能性に共感し、今回の協賛となりました。

両社の合併や新社名については、総代会での承認や関係当局の認可等を得ることを前提としています。

「最も信頼される生命保険会社」をめざして。

合併により会社規模と経営基盤が一気に拡大。
より充実したサービスをご提供します。

明治生命との合併により誕生する明治安田生命は、
会社規模と経営基盤が大幅に拡大することで、財務健全性のさらなる向上が期待できます。
また、両社のもつノウハウを融合させることで、
より充実したサービスをご提供することも可能になります。
これまで以上に、お客様の安心と満足をお約束できる生命保険会社をめざし、
努力を重ねてまいります。

両社の合算業績

総資産 (平成14年度末)		25兆7,272億円
保有契約高 (平成14年度末)		302兆5,755億円
基礎利益 (平成14年度)		4,417億円

上記は、両社の平成14年度末時点での数値を単純に合算したものであり、合併後の規模を予測または約束したものではありません。
「保有契約高」は個人保険・個人年金保険・団体保険の合計です。「基礎利益」は生命保険会社のフローの収益力を表す指標のひとつで、保険本業の期間収益の状況を表します。



mental and physical health support

合併に先駆け、新サービスを共同展開!

安田・明治のノウハウから生まれた新サービス「**マップ**」。
「map」は両社(安田生命・明治生命)のカード(安田生命カード)をお持ちのお客さまを対象としたポイントサービスです。ご加入の保険の内容や継続期間に応じてポイントが加算されます。獲得したポイント数により「健康・医療・介護」「ライフイベント」「トラベル&エンターテイメント」の3つのジャンルのサービスを受けられます。

mapサービスをご利用いただくには...

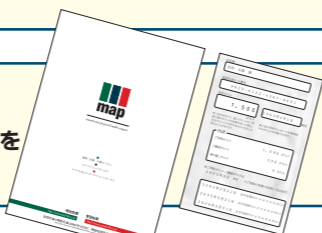
1 安田生命カードをつくる。

安田生命カードは入会金・年会費等が一切不要です。
カードはmapサービスに加え、ご契約に関するお手続き等にもご利用いただけます。
詳しくは担当の営業職員または最寄りの安田生命までお問い合わせください。
カードを作成できるのは、年齢条件等を満たした個人のご契約者に限ります。



2 ポイント通知とサービスガイドが届く。

年1回、ポイントをお持ちのご契約者に対し「ポイント残高通知書」およびサービス内容を掲載した「mapサービスガイド」が送付されます。



3 ポイントを貯める。

毎年4月にご契約状況に応じたポイントが加算されます。
ポイントの有効期限は最長3年間。ポイントを使わずに貯めておくことも可能です。

4 ポイントを使う。

各種サービスの必要ポイントをご確認のうえ、
ご利用されるサービスをお選びください。



ポイントの合算

mapサービスは、ご夫婦間のポイントの合算や、安田生命・明治生命両社間のポイントの合算により、ご利用いただくこともできます。

mapサービス活用例

専用ハガキ・電話・インターネットから、カンタン手順で手軽にお申し込みいただけます。

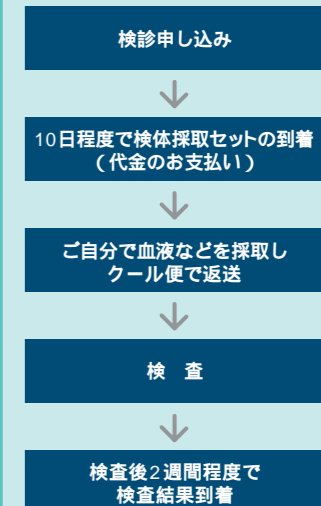
	ポイントがつく!	ポイントを使う!	ポイント残高
平成15年4月	ポイント加算 300 ポイント		300 ポイント
		「24時間医療健康相談サービス」で気になる体調について相談。 ポイント不要 0 ポイント	300 ポイント
平成16年4月	ポイント加算 300 ポイント		600 ポイント
		子どもの入学に「ライフイベントプレゼント」を利用。 300ポイント使用 300 ポイント	300 ポイント
平成17年4月	ポイント加算 300 ポイント		600 ポイント
		「検診宅配便」を利用し、自宅にいながら、がん検診。 400ポイントで、map特別優待料金にて利用 400 ポイント	200 ポイント
平成18年4月	ポイント加算 300 ポイント	ご継続ポイント 150 ポイント	650 ポイント

安田太郎さん
「健康物語 フルケア」
3,000万円
平成14年1月加入
災害・疾病関係特約を
付加していない場合

宅配便を利用したがんのセット検診

検査キット送付・返送に宅配便を利用しますので、誰にも会わずにいつでも受診できます。クール便で検体の変性を防ぎますので、精度・信頼性の高い検査結果が得られます。

検診宅配便の流れ



お一人おひとりの人生に、最上級の豊かさと安心を。 「QUALITY OF LIFE」の向上が、私たち安田生命の使命です。

ご契約者のみなさまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃は、安田生命をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

ここに平成14年度の当社事業の概要をご報告申し上げます。

現下の生命保険会社を取り巻く経営環境は、デフレの進行、超低金利の継続、株価の下落など非常に厳しい状況が続いています。このような経営環境の中、平成14年度は、期末にかけてイラク情勢の悪化の影響も相俟って国内株式の大幅な下落により厳しい決算となりました。しかしながら保険営業面では増高が続いてきた解約・失効高は減少に転じ、また資産運用面では価格変動リスク極小化に向けたリスク性資産の圧縮に努めました。さらに、経営効率の一層の向上を図るべく事業費の圧縮にも引き続き注力いたしました。これら将来につながる諸施策の断行により、ソルベンシー・マージン比率をはじめ経営諸指標においては良好な水準を維持することができました。

一方、平成16年1月の明治生命保険相互会社との合併準備に関しましては、個人保険分野で明治生命保険相互会社との商品ノウハウ交換の成果として、大型介護保障の主力商品「健康物語フルケア」を発売、「健康・医療・介護」「ライフイベント」「トラベル&エンターテイメント」の3分野のサービスをパッケージ化した「map」の共同開発等を行いました。また、人事面では人材交流を全国規模で実施、資産運用面では両社共同で「2003年度経済見通し」の対外発表を実施してまいりました。

当社は、明治13年に我が国初の生命保険会社として創業以来、「お客さま第一主義」を事業の基本思想として歩んでまいりました。本年度につきましても、引き続きお客さまの視点に立った経営を推進し、社会の負託とお客さまの信頼に積極的にお応えする会社であり続けるべく、全社を挙げて努力していく所存でございます。

今後とも、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



「お客さま第一主義」で、
みなさまの信頼に
全力でお応えします。



取締役会長 大島 雄次
取締役社長 宮本 三喜彦

社会とお客さまの
「QUALITY OF LIFE」の、
さらなる向上、発展に
貢献していきます。

経営理念

広く社会のニーズに応える
我々は、広く社会の求めるところに応え、
「QUALITY OF LIFE」の豊かな発展に貢献する。

優れた商品・サービスのご提供
我々は、最古・最新の会社として、経営の安定性・創造性を高め、顧客に最善のサービスを提供する。

会社・職員の向上、成長
我々は、明るく、楽しく、活力ある風土を培い、
会社と職員とまどもの向上・成長をめざす。

会社概要(平成15年3月末)

- 設立年月日.....明治13年1月1日
- 総資産.....9兆4,840億円
- 基金.....1,300億円(基金償却積立金含む)
- 保有契約高.....135兆2,764億円
(個人保険・個人年金保険 67兆4,481億円)
(団体保険 67兆8,283億円)
- 従業員数.....20,263名
(職員 5,194名)
(営業職員 15,069名)
- 事業所.....地方本部4 本部営業部5 支社81
- 本社所在地.....〒169-8701 東京都新宿区西新宿1-9-1
TEL 03-3342-7111(代表)

業界最古の歴史と革新の系譜

- 明治13年 初代安田善次郎、成島柳北らとともに共済五百名社を創立
- 大正12年 関東大震災で保険金の即時払や罹災者への貢献に万全を尽くす
- 昭和39年 保有契約高1兆円を達成
- 昭和46年 わが国ではじめて年齢階層別商品体系を確立
- 昭和48年 保有契約高10兆円を達成
- 昭和50年 わが国ではじめて『契約転換制度』を実施
- 昭和54年 総資産1兆円突破
- 昭和57年 保有契約高50兆円を達成
- 平成2年 創業110周年、保有契約高100兆円を達成、総資産6兆円突破
- 平成11年 英国ダイレクトライン社と業務提携、富国生命と包括的業務提携
- 平成12年 創業120周年 新事業コンセプト『健康向上計画』スタート
- 平成13年 『新世紀中期経営計画 スーパークオリティ21』策定
- 平成14年 明治生命との経営統合に向けた全面提携に基本合意、合併覚書に調印
- 平成15年 明治生命との合併契約書に調印

高い収益力と財務の健全性がみなさまの安心を支えます。



1,825億円

基礎利益とは、保険本業のフローの収益を示す指標のひとつです。平成14年度の基礎利益は、前年とほぼ同水準の1,825億円となりました。同様に基礎利益の一般勘定資産に対する比率も、前年とほぼ同水準の1.97%となり、引き続き高い収益力を維持しております。



5,896億円

「保険業法第132条第2項に規定する区分等を定める命令」第3条第2項の規定に基づき算出しております。

実質純資産額とは、時価評価した資産からご契約に関わる各種負債等を差し引いた、時価ベースの純資産額を表し、ソルベンシー・マージン比率と同様に、保険金等の支払能力を示す指標のひとつです。当社の平成14年度末の実質純資産額は5,896億円と健全な水準を維持しております。



617.6%

ソルベンシー・マージン比率とは、大災害や株の大暴落など通常の予測を超えて発生するリスクに対応するための支払余力を有しているかどうかを判断するための行政監督上の指標のひとつです。当社の平成14年度末時点での同比率は617.6%(前年度末比4.9ポイント増加)の水準にあり、引き続き十分な支払余力を確保しております。



0.30%

(リスク管理債権額の貸付金残高に対する比率)

リスク管理債権とは、「返済状況が正常でない」貸付金の総称で、「破綻先債権」「延滞債権」「3カ月以上延滞債権」「貸付条件緩和債権」の4つに区分されます。当社の平成14年度末の貸付金残高は3兆5,351億円ですが、そのうちリスク管理債権額は106億円、貸付金残高に対するリスク管理債権の比率(不良債権比率)は0.30%と極めて低い水準を保っております。

格付の状況 平成15年5月1日現在

当社は国内外の著名な格付会社3社に依頼し、格付を取得しております。当社の収益力や財務健全性が高く評価され、いずれの格付会社からも好評価を得ております。

格付は格付会社の意見であり、保険金のお支払い等について保証するものではありません。また、格付は取得した時点までの情報に基づくものであり、将来的に変化する可能性があります。

日本格付研究所(保険金支払能力格付)

A+

保険金支払履行の
確実性は高い。

格付投資情報センター(保険金支払能力格付)

A

保険金支払能力は
高く、部分的に
優れた要素がある。

スタンダード&プアーズ社(保険財務力格付)

BBB+

保険財務力は良いが、
上位の格付に比べ、事
業環境が悪化した場合、
その影響を受けやすい。

健康向上計画

「万一」から「毎日」へ、安田生命の保険のカタチ
「ヴァイタルパッケージ」をご提案します。

優れた商品

Vital PACKAGE

良質のサービス

「健康物語フルケア」



フルケア介護プランは公的介護保険にも連動し、フルケア入院プランは日帰り(0泊1日)入院からの保障が可能になりました。

介護・入院・3大疾病の3つのフルケアプランで、まさに安田生命史上最強の保険が誕生いたしました。

1 公的介護保険にも連動した大型介護保障 フルケア介護プラン

介護と死亡、2つの大型保障であなたとご家族をフルケア
公的介護保険連動だから保険金支払が早い
初期費用は一時金で、毎月の生活費は収入保障年金でカバー

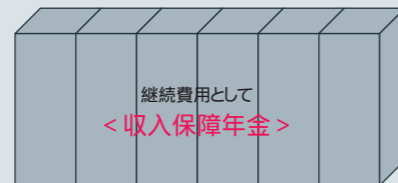
公的介護保険にも連動とは、公的介護保険の要介護4または5と認定された場合にも介護保険金の支払対象となることをさします。

公的介護保険にも連動

所定の要介護状態のとき
初期費用として
<介護初期費用準備金>

住宅改築、介護費用などの
初期費用の準備に
お使いいただけます。

死亡・高度障害のとき
当面の費用として
<生活安定一時金>



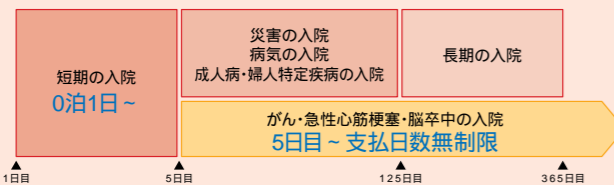
介護費用、生活費、住宅ローン支払などにお使いいただけます。

収入保障年金の受取期間は、
必要な期間にあわせて、
5年から20年まで
1年ごとに設定できます。

*収入保障年金は、保険金の受取人が主約款第3条に基づき、保険金の支払事由発生後に保険金の一部を新たに契約いただく「年金保険(ホーム年金)」の一時払保険料に充当し、一時金でのお支払いに代えてお受け取りいただく年金です。

2 日帰り(0泊1日)入院から使える高度先進の入院保障 フルケア入院プラン

日帰り(0泊1日)入院から365日の長期入院までフルケア
短期の入院保障は3倍設計が可能
ICU給付・手術後療養給付で先進の医療技術に対応

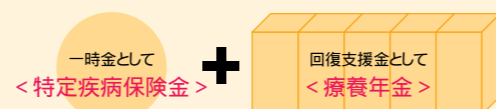


入院初期費用にお使いいただけます。

「3倍」とは、疾病入院特約(2001)の給付金日額に対する新・短期入院特約の給付金日額の割合を表現しているものです。

3 回復まで応援する3大疾病保障 フルケア3大疾病プラン

がん・急性心筋梗塞・脳卒中の3大疾病をフルケア
一時金と5年間の回復支援金で、
3大疾病からの回復を応援
支払日数無制限の入院保障で長期の入院にも対応



高額の治療費などにお使いいただけます。

次の または を5年間にわたってお支払いします。
保険料の1年・3年または5年分相当額
任意に設定した金額
継続してかかる治療費などにお使いいただけます。

+ 支払日数無制限 <入院給付金>
支払日数無制限の入院給付で安心して治療に専念していただけます。



mental and physical health support

安田生命・明治生命の新サービスパッケージ

map 誕生!

いつも楽しく充実した毎日、しあわせな笑顔のための地図。
ココロとカラダのための健康・快適サポートプログラム。

安田生命と明治生命は新サービス・パッケージ「map」を共同開発し、2003年4月よりスタートいたしました。「map」は、ご加入の保険のご契約内容や継続期間に応じてポイントを加算。獲得したポイント数により「健康・医療・介護サービス」、「ライフイベントサービス」、「トラベル&エンターテイメントサービス」の3つのジャンルからサービスを受けることができます。

「map」サービス概要

健康・医療・介護



健康や育児・介護などに関する電話相談、健康増進や健康チェックのための充実したサービスです。

相談サポート

24時間医療健康相談、病院紹介サービス等

早期発見・予防

人間ドック紹介、郵便による検診等

食生活サポート

ダイエットサポート、食生活応援Webサイト等

健康増進

健康グッズプレゼント等

介護サービス

介護相談・ケアマネージメントサービス等

ライフイベント



人生の節目となる結婚、就職など、さまざまなライフイベントに最適なサービスを取り揃えました。

ライフイベントプレゼント

大事なライフイベントを迎えられた方に素敵なプレゼントを差し上げます。

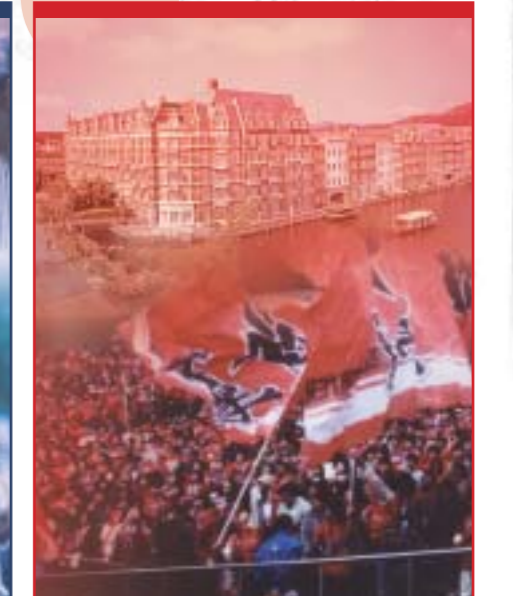
ライフイベントショッピング

大事なライフイベントを迎えられた方に厳選商品をご提供します。

ライフサポートファイナンス

教育ローンやプライダルローンなどの目的別ローンを優遇金利にて提携銀行からご提供します。

トラベル&エンターテイメント



レジャーやエンターテイメントなどにご活用いただけるさまざまなサービスをご用意しました。

トラベル

有名ホテルや高級旅館を優待料金で宿泊いただけるおトクなサービスです。

エンターテイメント

映画、コンサート、スポーツ観戦など、各種イベントのチケットが当たる楽しみなサービスです。

損害保険

当社の100%出資子会社の安田ライフ損害保険(株)、英国ダイレクトライン社との合併会社である安田ライフダイレクト損害保険(株)の2社を通じて、さまざまなリスクに備えるトータルプランをご提供しております。

迅速

親切

適正

安田ライフ損害保険(株)

取扱商品

- 自動車保険(快適カーライフの安心のために)
総合自動車保険(YAP)等
- 火災保険(住まいや家財の安心のために)
住宅総合保険、住宅火災保険等
- 傷害・レジャー保険(健康とレジャーの安心のために)
普通傷害保険、レジャー保険等
その他各種賠償責任保険、企業等の福利厚生制度のための保険等、
多くの商品を取り扱っております。

主なサービス

- 安田ライフあんしんダイヤル(通話料無料)
24時間・365日通話料無料の事故受付サービスを実施しております。
- カーアシスタンスデスク(通話料無料)
お車の事故、故障の場合には「カーアシスタンスデスク」にて救援手配・各種相談を実施しております。

安田ライフ・安田ライフダイレクト共通

- 指定修理工場制度 全国数百の指定修理工場(安田ライフ450、安田ライフダイレクト620)が、お客様の車両について次の4つのサービスをご提供します。
無料引き取り・無料納車サービス スピード修理・優先修理
無料代車サービス 修理保証書の発行

安田ライフダイレクト損害保険(株)

取扱商品

- 自動車保険 お客さま一人ひとりに合わせた自動車保険
リスク細分型自動車保険



通信販売用総合自動車保険
(ダイレクトライン自動車保険)

DIRECT LINE
安田生命グループ

主なサービス

- ダイレクトアドバイスセンター(通話料無料)
保険料の見積りから加入手続、アフターサービスまで、
すべて電話1本で解決します。
- ダイレクトサポートセンター(通話料無料)
電話1本で24時間・365日、事故やお車の故障に関して
必要なサービスをご提供します。
- ロードサービス
カーライフをより安全・快適にするために、次の4つのサービスをご提供します。
トラブルサポートサービス レッカーサービス
アクシデントサポートサービス オペレーションサービス



企業・団体向け商品

ますます高まる企業福祉の重要性。そのニーズも在職中の遺族保障だけでなく、医療保障、退職後の生活保障も含めた総合的な生活保障へと広がってきております。

当社では、このようなニーズに対して、各種の団体向け保険・個人向け保険を効果的に組み合わせ活用いただく「企業福祉総合プラン」をご提案し、多くの企業でご採用いただいております。

取扱商品

- 団体定期保険
- 新・団体定期保険
- 総合福祉団体定期保険
- 団体信用生命保険
- 消費者信用団体生命保険
- 医療保障保険(団体型)
- 団体就業不能保障保険
- 無配当定期保険(型)
- 無配当特定疾病保障定期保険(型)
- 無配当医療保険
- 医療プラン
- 拠出型企業年金保険
- 財形貯蓄積立保険
- 財形年金積立保険
- 財形住宅貯蓄積立保険
- 役員保険
- 新企業年金保険
- 有期利率保証型確定拠出年金保険
- 確定給付企業年金保険
- 厚生年金基金保険
- 団体扱個人保険

等



お客さまに安心して安田生命の商品やサービスをご利用いただけるよう、コンプライアンスを大切にしています。

安田生命の営業活動方針

私たちは、お客様の「QUALITY OF LIFE」の豊かな発展への貢献という経営理念の下、次に掲げるルールを守り、お客様の満足を第一とする営業活動に努めます。

1. 保険業法・証券取引法等の法令・諸規則を遵守するのはもちろんのこと、商品をおすすめる際にはお客様の立場にたって、場所や時間帯に十分配慮した営業活動をおこないます。
2. お客様一人ひとりのご要望やご家族の状況等を十分に考慮したコンサルティングをおこない、お客様にふさわしい商品の提案に努めます。
特に、投資信託等の市場リスクを伴う商品については、お客様の知識、経験、年齢および財産の状況等も踏まえて、お客様の意向と実情にあった商品の提案に努めます。
3. 商品をおすすめる際には、お客様自身の判断において適切な商品をお選びいただけるよう、判りやすい説明をこころがけるとともに、商品内容やリスク内容等の重要事項について十分な説明をおこないます。
4. お客様のプライバシーに十分配慮し、お客様に関する情報については厳格かつ適正な取り扱いをおこないます。
5. 教育・研修態勢の充実により人材の育成をはかるなど、お客様の信頼にお応えするために今後とも努力してまいります。

営業活動方針は「金融商品の販売等に関する法律」に基づく当社の勧誘方針として定めたものです。お気付きの点がございましたら、コミュニケーションセンターまでお知らせ下さい。

投資信託

平成11年3月に、「安田ペインウェバー(YPW)投信株式会社」を設立し、同年4月よりお客様の多様なニーズにお応えする投資信託商品をご提供しております。

●主に株式に投資するタイプ



●主に公社債に投資するタイプ



●バランスタイプ



投信コールデスク 投資信託に関するご照会への対応、資料送付、各種手続等のサービスをご提供しております。

安田生命投資信託コールデスク 0120-867104 受付時間 9:00~17:00(土・日・祝日および安田生命の休業日を除く)

平成14年度末の総資産は9兆4,840億円となりました。

資産・負債等の状況

貸借対照表(主要項目)

(単位:百万円、%)

科目	平成14年度末		平成13年度末	
	金額	構成比	金額	構成比
[資産の部]				
現金及び預貯金	104,460	1.1	82,069	0.8
コールローン	294,800	3.1	210,000	2.1
買現先勘定	107,980	1.1	142,979	1.5
買入金銭債権	100,399	1.1	83,177	0.9
金銭の信託	371,867	3.9	382,338	3.9
有価証券	4,199,556	44.3	4,682,527	47.9
（うち公社債）	(2,057,661)		(1,906,781)	
（うち株式）	(855,947)		(1,166,690)	
（うち外国証券）	(1,171,932)		(1,484,010)	
貸付金	3,535,147	37.3	3,489,160	35.7
保険約款貸付	126,350		129,653	
一般貸付	3,408,797		3,359,507	
不動産及び動産	391,140	4.1	415,820	4.3
土地	232,974		256,284	
建物	151,901		148,148	
動産	4,817		5,367	
建設仮勘定	1,447		6,019	
代理店貸	34	0.0	35	0.0
再保険貸	1,185	0.0	1,116	0.0
その他資産	209,113	2.2	153,166	1.6
繰延税金資産	176,389	1.9	153,749	1.6
支払承諾見返	513	0.0	513	0.0
貸倒引当金	8,494	0.1	18,043	0.2
資産の部合計	9,484,094	100.0	9,778,609	100.0

資産の部合計

平成14年度末の総資産は、9兆4,840億円(対前年2,945億円減少)となりました。

有価証券

平成12年度より金融商品の時価会計導入に伴い、有価証券をその保有目的に応じて以下の5種類に区分して評価しています。

有価証券の評価基準

区分	定義	評価基準	評価差額【注】の取扱
売買目的有価証券	時価の変動により利益を得ることを目的として保有する有価証券	時価	当期の損益として損益計算書に計上
満期保有目的の債券	満期まで所有する意図を持って保有する社債その他の債券	償却原価	-
責任準備金対応債券	金利変動に対する債券と責任準備金の時価変動を概ね一致させることにより、責任準備金の金利変動リスクを回避することを目的として保有する債券	償却原価	-
子会社・関連会社株式	-	原価	-
その他有価証券	上記に区分される以外の有価証券	時価	貸借対照表の資本の部に直接計上ただし、税効果分については資産または負債の部に計上

【注】評価差額とは、帳簿価額と時価との差額のことです。

(単位:百万円、%)

科目	平成14年度末		平成13年度末	
	金額	構成比	金額	構成比
[負債の部]				
保険契約準備金	8,569,862	90.4	8,830,355	90.3
支払準備金	72,115		67,443	
責任準備金	8,291,716		8,519,625	
社員配当準備金	206,029		243,286	
再保険借	523	0.0	79	0.0
社債	11,058	0.1	12,259	0.1
その他負債	546,309	5.8	508,887	5.2
退職給付引当金	101,534	1.1	80,542	0.8
債権売却損失引当金	-	-	15	0.0
価格変動準備金	26,624	0.3	70,226	0.7
再評価に係る繰延税金負債	4,457	0.0	10,274	0.1
支払承諾	513	0.0	513	0.0
負債の部合計	9,260,883	97.6	9,513,154	97.3
[資本の部]				
基金	90,000	0.9	90,000	0.9
基金償却積立金	40,000	0.4	40,000	0.4
再評価積立金	163	0.0	163	0.0
剰余金	128,949	1.4	111,648	1.1
損失てん補準備金	2,407		2,007	
任意積立金	35,620		23,840	
当期末処分剰余金	90,921		85,800	
土地再評価差額金	7,879	0.1	18,163	0.2
株式等評価差額金	43,781	0.5	5,479	0.1
資本の部合計	223,210	2.4	265,455	2.7
負債及び資本の部合計	9,484,094	100.0	9,778,609	100.0

【注】今年度より資本の部の表示方法を一部変更しておりますが、平成13年度の資本の部についても変更後の表示方法で表示しております。

株式等評価差額金

「その他有価証券」の評価差額 685億円のうち、税効果分を除いた 437億円を資本の部に計上しています。

基金

相互会社において株式会社の資本金にあたるものが基金です。平成13年9月に300億円の基金の追加募集を行いました。これにより、基金の総額(基金と基金償却積立金の合計)1,300億円となりました。

保険契約準備金

保険業法において将来の保険金などの支払いに備えて積立てが義務づけられているもので、以下の3種類があります。

- ・支払準備金 — 支払義務が発生している保険金、返戻金その他の給付金のうち、決算期末時点で未払いとなっているものについて、その支払いのために必要な金額を積立てる準備金です。
- ・責任準備金 — 将来の保険金、年金、給付金の支払いに備えて保険種類ごとに積立てが義務づけられている準備金です。当社は最も堅実な積立方式である「平準純保険料式」により積立てています。
- ・社員配当準備金 — 保険契約に対する配当を行なうために積立てられた準備金です。

収支の状況

保険関係収支(保険料等収入,保険金等支払金)

保険料等収入は、ご契約者から払い込まれた保険料等による収益です。また、保険金等支払金には、保険金、年金、給付金、返戻金などの保険契約上の支払金を計上しています。平成14年度の保険料等収入は、団体年金保険の保険料収入の減少等により対前年7.3%減少し1兆2,962億円となりました。保険金等支払金は、解約返戻金の減少等により対前年11.0%減少し、1兆3,320億円となりました。

資産運用関係収支(資産運用収益,資産運用費用)

資産運用収益は、資産運用による収益で利息や配当金のほかに有価証券売却益なども含まれます。平成14年度は、低金利環境下で利息及び配当金等収入が減少しましたが、金融派生商品収益や金銭の信託運用益等の増加により、資産運用収益合計では対前年7.4%増加し3,503億円となりました。資産運用費用は、資産運用収益を得るために要した費用で、有価証券売却損、有価証券評価損などを計上しています。平成14年度は国内株式市場の低迷などの影響でこれらの費用が増加したことから、資産運用費用合計で対前年6.8%増加の3,120億円となりました。

事業費

新契約の募集および保険契約の維持・保全や保険金などの支払いに必要な費用を計上しています。平成14年度は、より一層の効率化に努めた結果、1,770億円と前年に比べ4.7%の削減となりました。

経常利益等の明細(基礎利益)

保険本業の収益力を示す基礎利益は1,825億円(対前年11億円減少)となりました。

項目	平成14年度	平成13年度
A.基礎利益	1,825,211	1,836,800
B.キャピタル損益	126,643	154,166
C.臨時損益	-	4,313
経常利益(A+B+C)	55,878	25,200

当期末処分剰余金

平成14年度の未処分剰余金は909億円となりました。このうち、727億円をご契約者への配当金のお支払財源として社員配当準備金に繰り入れられました。そのほか、平成13年度までに募集した基金900億円の償却に備え基金償却準備金に160億円を積み立てるなどの充当処分を行いました。

平成14年度の剰余金処分につきましては、7月に実施する総代会で承認を受けるまでは確定ではありません。承認結果につきましては、総代会後の決算公告にてお知らせいたします。なお、ディスクロージャー資料「安田生命の現状」および当社ホームページ上でもお知らせいたします。

損益計算書(主要項目)

(単位:百万円、%)

科目	平成14年度		平成13年度
	金額	増加率	
経常収益	1,938,709	5.5	2,052,629
保険料等収入	1,296,299	7.3	1,398,347
資産運用収益	350,339	7.4	326,178
（うち利息及び配当金等収入）	(201,936)		(217,759)
（うち金銭の信託運用益）	(13,389)		(-)
（うち売買目的有価証券運用益）	(10,832)		(-)
（うち有価証券売却益）	(51,105)		(108,084)
（うち金融派生商品収益）	(71,299)		(-)
その他経常収益	292,070	11.0	328,103
（うち責任準備金戻入額）	(227,908)		(266,150)
経常費用	1,882,830	7.1	2,027,428
保険金等支払金	1,332,050	11.0	1,496,795
責任準備金等繰入額	5,438	40.7	3,864
資産運用費用	312,035	6.8	292,286
（うち金銭の信託運用損）	(-)		(37,455)
（うち売買目的有価証券運用損）	(-)		(5,198)
（うち有価証券売却損）	(124,885)		(83,304)
（うち有価証券評価損）	(132,091)		(51,498)
（うち金融派生商品費用）	(-)		(70,334)
（うち特別勘定資産運用損）	(42,096)		(29,915)
事業費	177,005	4.7	185,711
その他経常費用	56,301	15.4	48,771
経常利益	55,878	121.7	25,200
特別利益	52,090	385.1	10,739
（うち価格変動準備金戻入額）	(43,601)		(-)
特別損失	37,812	60.6	23,540
（うち不動産産等処分損）	(17,504)		(5,155)
（うちその他特別損失【注】）	(19,941)		(17,971)
税引前当期剰余	70,157	465.8	12,398
法人税及び住民税	194		505
法人税等調整額	591		16,241
当期剰余	70,553	142.1	29,146
前期繰越剰余金	8,536		60,553
再評価差額金取崩額	10,283		4,601
退職積立金取崩額	1,181		290
社会福祉助成資金取崩額	366		412
当期末処分剰余金	90,921	6.0	85,800

【注】その他特別損失は、退職給付会計基準変更時差異費用処理額などです。

剰余金処分に関する書面

(単位:百万円)

科目	平成14年度	平成13年度
当期末処分剰余金	90,921	85,800
任意積立金取崩額	-	5,000
社員配当準備金取崩額	-	5,000
計	90,921	90,800
剰余金処分額	90,921	82,264
社員配当準備金	72,787	61,797
差引純剰余金	18,134	20,466
損失てん補準備金	400	400
基金利息	1,734	1,738
任意積立金	16,000	18,327
基金償却準備金	16,000	16,000
不動産圧縮積立金	-	1,707
退職積立金	-	200
社会福祉助成資金	-	420
次期繰越剰余金	-	8,536